

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/01/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 中東情勢の緊迫化が続き、75ドル突破

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半まで値上がりし、昨年11月30日以来の高値を更新する展開になった。引き続き中東情勢緊迫化に対する警戒感が強く、上値追いの展開になった。原油供給障害などは発生していないが、地政学リスクの高まりが相場に対してプレミアム加算を促している。また、中国政府の景気対策期待が強くなっていること、10~12月期米国内総生産（GDP）が市場予想を上回ったことで、米中の需要環境に対して楽観的な見方が強まったこともポジティブ。

中東ではイエメンの武装組織フーシ派の船舶に対する攻撃が続いている。米軍はイエメンのフーシ派施設に対する攻撃も行っているが、逆に紅海での船舶の航行リスクは一段と高まり、海運各社も紅海・スエズ運河の航行を一時中止する動きを強化している。あくまでも輸送障害に留まり、生産障害は発生していない。ただし、高いレベルの先行き不透明感から75ドルの節目を上抜く展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月19日時点）は、原油が前週比923万バレル減、ガソリンが491万バレル増、石油精製品が142万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 過熱感の強い価格ゾーン、中東情勢次第で大きく動く可能性も

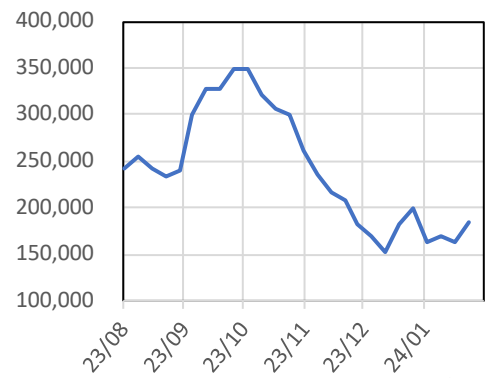
中東情勢の不安定化を背景に戻り高値を更新しているが、上昇余地は限定されよう。石油タンカーの紅海・スエズ運河通行が困難になっているが、現状ではアフリカの喜望峰沖のルートで代替されており、欧州地区などの需給に目立った混乱は見られない。このまま生産障害が発生しないのであれば、70ドル台後半からの上昇余地は限定される可能性が高く、徐々に上値の重さを再確認しよう。

中東情勢は先行きの見通しが立たず、仮に中国の仲介でイランがフーシ派の活動抑制の動きを見せると、利食い売りが膨らみやすくなる。イスラエルとハマスの一時停戦が実現した場合にも、下振れリスクが高まる。一方、26日にはロシアの石油タンカーがミサイルに被弾しており、石油タンカーに対する攻撃が相次ぐような事態になると、もう一段階の上昇を試す可能性が高まる。

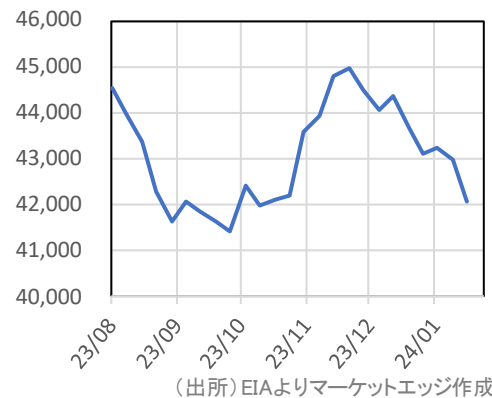
一方で、需要不安の後退が下落余地を限定する。原油価格の水準が切り下がったことで、中国などの石油精製業者の在庫手当の動きが強くなっている。また、米中経済に対する信頼感が回復していることもポジティブ。WTI原油のサヤをみても、昨年12月時点の順サヤ（期近安・期先高）が逆サヤに転換しており、期近限月に対してはプレミアムが加算されている。80ドル水準には割高感が強い一方、70ドル割れから値を崩す必要性も薄れている。

1月30～31日の米連邦公開市場委員会（FOMC）を受けてのドル、株価動向がイベントリスクになる。また、前週は米原油在庫減少もポジティブ材料視されたため、更に在庫取り崩しが進むかにも注目したい。

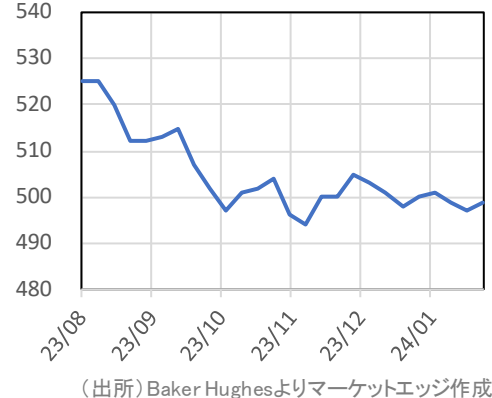
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

